

目標未達成理由等の報告書

(総合)振興局	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
上川	美瑛町	朗根内	平成29年度	令和元年度	美瑛町

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1		経営面積の拡大	当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。
2		売上高の拡大	馬鈴薯が干ばつ被害を受け収量が減少したことや新型コロナウイルス感染拡大の影響で買取価格が下落したことで原因で、成果目標が未達成となった。	品質向上及び買取価格の向上に向けた取り組み、天候に左右されにくい品種の導入や営農技術を導入するよう指導し、令和4年度までに目標を達成することとする。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。
売上高の拡大	馬鈴薯が干ばつ被害を受け収量が減少したことや新型コロナウイルス感染拡大の影響で買取価格が下落したことで原因で、成果目標が未達成となった。	品質向上及び買取価格の向上に向けた取り組み、天候に左右されにくい品種の導入や営農技術を導入するよう指導し、令和4年度までに目標を達成することとする。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地の点在が問題であるため、集約化を促進していく。原則は地区の改善組合を活用し農地管理を実施し、管理しきれない場合は農地中間管理機構を活用したい。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 地区としては担い手は十分に確保されている。今後は中心経営体を中心となり、後継者の育成に力を入れていきたい。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 近い将来農地の出し手となる者と農地があるため、農閑期など地区全員が集まりやすい時期に随時見直す。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 これまで同様の圃場管理を進めるよう指導していくとともに、品質向上及び買取価格の向上に向けた取組について、普及センター等の関係者と連携した指導を実施していく。</p>

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、必須目標となる地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。

目標未達成理由等の報告書

(総合)振興局	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
上川	美瑛町	美馬牛	平成29年度	令和元年度	美瑛町

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1		売上高の拡大	馬鈴薯が干ばつ被害を受け収量が減少したことや新型コロナウイルス感染拡大の影響で買取価格が下落したことで原因で、成果目標が未達成となった。	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。
		経営面積の拡大	当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。
2		売上高の拡大	馬鈴薯が干ばつ被害を受け収量が減少したことや新型コロナウイルス感染拡大の影響で買取価格が下落したことで原因で、成果目標が未達成となった。	品質向上及び買取価格の向上に向けた取り組み、天候に左右されにくい品種の導入や営農技術を導入するよう指導し、令和4年度までに目標を達成することとする。
		経営面積の拡大	当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
売上高の拡大	馬鈴薯が干ばつ被害を受け収量が減少したことや新型コロナウイルス感染拡大の影響で買取価格が下落したことで原因で、成果目標が未達成となった。	品質向上及び買取価格の向上に向けた取り組み、天候に左右されにくい品種の導入や営農技術を導入するよう指導し、令和4年度までに目標を達成することとする。
経営面積の拡大	当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地の点在が問題であるため、集約化を促進していく。原則は地区の改善組合を活用し農地管理を実施し、管理しきれない場合は農地中間管理機構を活用したい。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 地区としては担い手は十分に確保されている。今後は中心経営体が中心となり、後継者の育成に力を入れていきたい。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 近い将来農地の出し手となる者と農地があるため、農閑期など地区全員が集まりやすい時期に随時見直す。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 これまで同様の圃場管理を進めるよう指導していくとともに、品質向上及び買取価格の向上に向けた取組について、普及センター等の関係者と連携した指導を実施していく。</p>

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、必須目標となる地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。

目標未達成理由等の報告書

(総合)振興局	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
上川	美瑛町	美沢	平成29年度	令和元年度	美瑛町

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
4		経営面積の拡大	当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地の点在が問題であるため、集約化を促進していく。原則は地区の改善組合を活用し農地管理を実施し、管理しきれない場合は農地中間管理機構を活用したい。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 地区としては担い手は十分に確保されている。今後は中心経営体を中心となり、後継者の育成に力を入れていきたい。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 近い将来農地の出し手となる者と農地があるため、農閑期など地区全員が集まりやすい時期に随時見直す。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 これまで同様の圃場管理を進めるよう指導していくとともに、品質向上及び買取価格の向上に向けた取組について、普及センター等の関係者と連携した指導を実施していく。</p>

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、必須目標となる地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。

目標未達成理由等の報告書

(総合)振興局	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
上川	美瑛町	中宇莫別	平成29年度	令和元年度	美瑛町

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1		付加価値額の拡大	新型コロナウイルス感染拡大の影響で肥料や農薬、燃料費等の費用が増大したことが原因で、目標が達成できなかった。	作業の効率化や農薬・肥料の使用量軽減に向けた技術の導入等によりコスト削減を図ることで、令和4年度までに目標を達成することとする。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
付加価値額の拡大	新型コロナウイルス感染拡大の影響で肥料や農薬、燃料費等の費用が増大したことが原因で、目標が達成できなかった。	作業の効率化や農薬・肥料の使用量軽減に向けた技術の導入等によりコスト削減を図ることで、令和4年度までに目標を達成することとする。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地の点在が問題であるため、集約化を促進していく。原則は地区の改善組合を活用し農地管理を実施し、管理しきれない場合は農地中間管理機構を活用したい。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 地区としては担い手は十分に確保されている。今後は中心経営体を中心となり、後継者の育成に力を入れていきたい。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 近い将来農地の出し手となる者と農地があるため、農閑期など地区全員が集まりやすい時期に随時見直す。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 これまで同様の圃場管理を進めるよう指導していくとともに、品質向上及び買取価格の向上に向けた取組について、普及センター等の関係者と連携した指導を実施していく。</p>

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、必須目標となる地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。

目標未達成理由等の報告書

(総合)振興局	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
上川	美瑛町	朗根内	平成29年度	令和元年度	美瑛町

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1		経営面積の拡大	当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。	目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、令和4年度までに目標を達成することとする。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地の点在が問題であるため、集約化を促進していく。原則は地区の改善組合を活用し農地管理を実施し、管理しきれない場合は農地中間管理機構を活用したい。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 地区としては担い手は十分に確保されている。今後は中心経営体を中心となり、後継者の育成に力を入れていきたい。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 近い将来農地の出し手となる者と農地があるため、農閑期など地区全員が集まりやすい時期に随時見直す。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 これまで同様の圃場管理を進めるよう指導していくとともに、品質向上及び買取価格の向上に向けた取組について、普及センター等の関係者と連携した指導を実施していく。</p>

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、必須目標となる地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。